

「福山都市圏における交通環境学習の取り組みについて」

福山市建設局都市部都市交通課 荒平 信行

福山都市圏では、渋滞緩和による地球温暖化防止を目的に、ノーマイカー運動を通年的に実施する「ベスト運動」を推進しており、その重要な支援施策の1つとして、総合的な学習に導入できる交通環境学習を位置づけ、小学校教育との連携を進めており、児童の交通・環境に対する意識を高め、長期間その意識を持続させること、家庭での児童と家族の継続的なコミュニケーションにより、習慣化している家庭でのクルマ利用を自発的に見直してもらう”きっかけ”になることを期待しています。

この交通環境学習は、2005年度(平成17年度)から市内の公立小学校1校の協力を頂き、3ヵ年試行錯誤し、「興味をもってもらうためのスライド」、「CO2を用いた温暖化実験」、「行動プラン作成シート」など授業で使用するツールや進め方をパッケージ化し、現在、毎年市内公立小学校4校で実施しています。

また、交通環境学習を終えた児童たちが「この思いを地域の人たちに伝えたい!」と立ち上がり、地域の商業施設などへポスター掲示や、様々な機会に自分たちの想いを学習成果として発表することで、地域の運動としての広がりを見せています。

このように児童自らが行動することによって、保護者の自動車利用を抑制する行動変容率は当初約2割程度であったのが、3ヶ月後のフォローアップ調査では、5割以上の保護者が月に一回以上の行動変容を行っており、一年後もほぼ継続しているといった効果も確認できました。

現在の行政主体の取り組みから、将来的には多様な主体(企業や大学等)との連携を図り、実施校の拡大に向けて取り組みを進めていきたいと考えています。